

定時制の灯を守ろう！ NO. 102

2009・6・7

守る会NEWSLETTER

URL:<http://homepage3.nifty.com/save-teiji/>都立定時制高校を守る会・連絡会

連絡会事務局発行

異常だった09年度入試！

～もう無為無策は許されない～

6月24日（水）、11時からの

緊急都教委要請に参加を

守る会の皆さん、

定時制の皆さん、

09年度の入試は異常でした。多摩地区ではほとんどの夜間定時制で、倍率が出て、多くの不合格者を出しました。この様な事態を来年度もくり返してはなりません。例年なら、9月に要請行動を持っているのですが、今回は、9月まで待つことはできないと判断し、異例ですが、今年度は6月24日に要請行動を設定します。

多くの皆さんの参加をお願いします。

日時：6月24日（水）10時45分に都庁第二庁舎ロビ

ーに集合。要請は11時から12時までの予定。

場所：都庁第二庁舎の28階第3会議室

09年度入試結果に関する緊急要請書

09年度の入試は、「異常事態」としか言いようのないものでした。私たちは、貴委員会による「新配置計画」「改革推進計画」によって、とりわけ夜間定時制が大きな影響を受けると指摘してきましたが、まさにその指摘通りになってしまったと言わざるを得ません。

昨年度の就学計画において、全日制では十五学級増が行われました。このこと自体、貴委員会が実施してきた統廃合計画の明白な破綻を示すものです。しかも、学級増にもかかわらず、結果として定時制の二次募集では夜間定時制に受験生が殺到し、多くの不合格者を出しました。とりわけ、矛盾は多摩地区に集中し、多摩地区の二次募集では、倍率が出なかった夜間定時制はたったの1校でした。区部においても、少なくない定時制で倍率が出ました。

この傾向は、数年前から続いており、私たちは何度も、不合格者を出さないための施策を求めてきました。昨年度は、取り下げ、再提出制度を取り入れたことにより、表面的には倍率が下がったようにも見えましたが、今回の異常事態を見れば、根本的な解決がはかられていないことは明白です。解決のための施策を怠ってきた貴委員会の責任は、免れるものではありません。

現在、日本の格差拡大や貧困層の増大が問題となり、その克服が社会的な課題となっています。セーフティ・ネットとして、様々な困難を抱えた生徒を受け入れてきた夜間定時制の役割をもう一度明らかにしつつ、希望する生徒の誰もが入学できる教育条件を整えることこそ、行政の役割ではないでしょうか。そうした観点から、「改革推進計画」の全面的な総括も必要になっていると考えます。以上の観点から、緊急に要望します。

- 一、来年度の入試に向けて、夜間定時制において、大量の不合格者を出さないための施策を講じてください。募集停止校再開などによる募集枠拡大、さらには少人数学級によるゆとりある学級編成等を求めます。
- 一、昨年度の全日制十五学級増に至った経過を含め、就学計画全体の総括を求めます。また、それとの関連で、夜間定時制の二次募集において、多くの学校で不合格者が出るに至ったことを貴委員会としてどう受けとめておられますか。またその原因をどうとらえておられますか。
- 一、その他、定時制教育振興のための方策をいっそう充実させてください。

都立定時制高校を守る会・連絡会 代表 森 光男

東京都教育委員会 教育長殿

守る会09年度総会～於文京区民センター（地下鉄春日 or 後樂園下車）

7月19日（日）夜6時から